名古屋市立大学
大学院システム自然科学研究科・総合生命理学部

# 第154回　学部・研究科セミナー

◆講師◆　静岡大学電子工学研究所ガラス加工室
静岡大学技術部

技術職員　百瀬与志美　氏

◆演題◆　大学の研究開発にガラス加工技術がどの様な貢献をしてきたか

◆日時◆　令和元年 9月18日（水）
14:00 ～ 15:30

講演終了後、希望者を対象にガラス工作の実演と簡単な実習を行う予定です。
（５号館１階　１５２室）

◆場所◆ 名古屋市立大学　山の畑キャンパス　４号館大講義室
http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/location.html

化学だけでなく、生物・物理の実験でも、ガラス器具を使うことは多いと思います。ガラス器具は、熱に強く、密閉性も高く、透明性が高い、などの特性があるため、用途に応じて様々な形の器具として使われています。最先端研究に応じた、テーラーメイドのガラス器具を創り出すことができる、ガラス工作技術職員は、いまではそれほど多くはいらっしゃいません。今回、静岡大学で長年ガラス工作技術職員を務めてこられた、百瀬与志美氏が名古屋市立大学を訪問される機会に、「大学での研究へのガラス技術の貢献」をテーマにご講演して下さることになりました。

本講演を通し学生や研究者の方々が、少しでもガラス器具の利点、ガラスのみならず、研究における器具・装置開発の重要性と、技術の継承の大切さ、などについて、興味とご理解を深めて頂ければ嬉しく思います。

キーワード：静岡大学電子工学研究所、高柳健次郎、テレビジョンの開発、カミオカンデ、浜松ホトニクス、多元結晶成長、国際宇宙ステーション　ISS

ご多忙中とは存じますが、お誘い合わせの上多数の皆様のご来聴をお願い致します。

◆問合先◆　笹森貴裕（名市大システム自然科学研究科）
052-872-5820、sasamori@nsc.nagoya-cu.ac.jp